

【キーワード】 Analytical Placement, Stable-LSE

【研究概要】

LSIの1チップ上に搭載可能なシステムの大規模化に伴ない、高速なレイアウト手法が必要となっている。本研究では、高速概略配置手法であるAnalytical Placementに着目する。ここで、最大値関数の近似関数として一般的に利用されているLSE法の数的不安定を解消したStable-LSE法を提案し、それを利用したレイアウトシステムの構築を目指す。

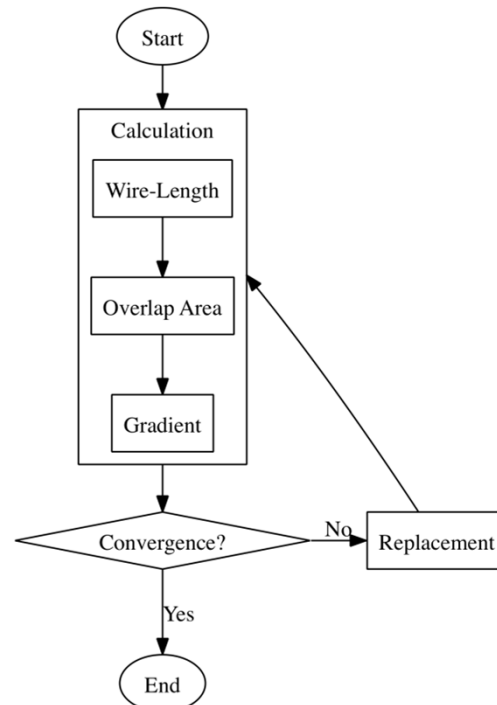


図3: 提案フロー

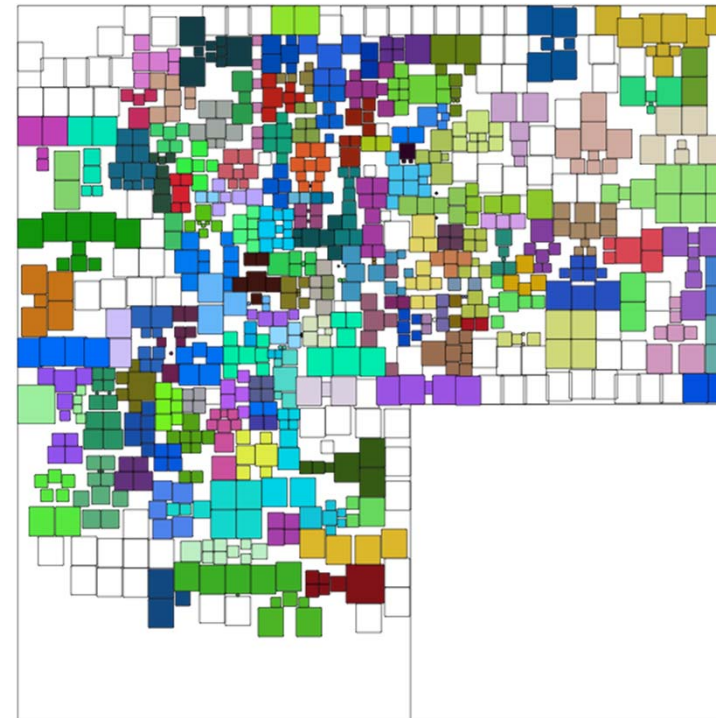


図4: 配置結果 (計算時間45秒)